

## ご挨拶

会長 豊田勝良

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
町会員の皆様には、健やかに新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年中は町会活動に対しましてご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。  
地域の皆様のおかげでをもちまして各部会活動も無事行うことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年は「丙午(ひのえうま)」丙は「火」の要素を持ち太陽の明るさ生命のエネルギーを表し、植物の成長に例えると「芽が成長し葉が広がり成長が著しい状態」を意味するそうです。午は古来から人間と共に生きてきた動物で駿足を持ち独立心が強く、人を助けてくれる存在、成長や成功、繁栄のシンボルとして縁起が良いものとされています。そのため丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的なる」そうです。

昨年は、大分市で大規模火災、日本各地での森林火災、そして青森県東方沖地震がありました。「丙午」の年は火事が多い、この年の生まれは「気性が荒い」など言われますが、これはあくまでも江戸時代初期からの迷信です。ただ普段から火事、地震など大規模災害に備えていく必要があると思います。

本年も安心・安全に暮らせる町づくりを目指し、役員一同力を合わせ取り組んでまいります。引き続き町会活動へのご参加、ご協力をお願い申し上げます。

結びに町会員皆様のご健康とご多幸を、そして本年が明るく希望に満ちた年になりますよう心よりお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。



## 令和8年 新年会のおしらせ

新しい年の始まりをみなさんと一緒にたのしみませんか

神田紅純さんの講談と今年はくじびきもあります！  
たくさんの方の参加をお待ちしています！

- 【日時】 令和8年1月17日 土曜日 10時から12時  
【場所】 石神井公園交流センター ピアレス2階  
【会費】 会員:3,000円 非会員:4,000円 弁当付き  
【申し込み】 会費を添えて班長さんまたは支部長さんに  
申し込んでください



令和8年1月8日(木)しめきり



## 各部のお知らせ

### 文化交流部

### 文化展開催のお知らせ

町会では、地域のみなさんの作品を持ち寄った展覧会を開催します  
絵、写真、書、手芸、工作などジャンルは問いません。

ぜひお気軽にご参加ください。

【展示期間】 3月13日(金)～15日(日)

【場所】 練馬区立男女共同参画センター エーる

申込み方法等は回覧板でお知らせします。

担当:文化交流部 青木利恵



### 防犯交通部

### 特殊詐欺に注意！



石神井警察署管轄のなかでも3億円以上の被害額が出ています。国際電話番号による特殊詐欺が急増しています。被害に遭わないため、国際電話の利用休止をすすめています。

警視庁防犯アプリ「デジポリス」の活用又は

石神井警察署生活安全課防犯係までご相談ください。

ダウンロード  
iOS版



ダウンロード  
Android版



### 実話から学ぶ詐欺電話の実態

今年夏、ある土曜日の朝 8 時頃固定電話に見慣れぬ電話番号から着信があり、無視した。10 時に再び同じ番号からコール、無視。再三かかり 12 時にもかかり息子(30 台)が出てみると、「こちらは厚生労働省です。確認したいことがありますので、オペレーターにおつなぎします。」と自動音声の後男性がでた。

「〇〇〇というお薬を金沢で購入されませんでしたか？」精神安定剤で一か月分以上は購入できる薬品ではありません。いろいろ説明されたが全く身に覚えのないことだった。その旨伝えると「保険証を使われている可能性がある」といわれた。「なくしたことはないか？」とかいろいろ聞かれた。そして「金沢で使われた可能性があるので、金沢署に被害届を 15 時までに出してください。」と言われた。このあたりからこれは詐欺かな？と思うがお金の話は一切出ないのでおかしいな？と思いつつ、そのまま話してしまった。息子の横でスマホを使って「厚生労働省〇〇課」等を検索すると確かに存在する。

「厚生労働省と警察とは繋がっているので金沢署から転送するのでそのまま電話でお待ちください。」おかしいな？と思うことはあるが、電話の男性も声を荒げることもなく淡々と話しを進める。ただ、話の途中で「確認のためフルネームでお名前を教えてください」とか、「今ご家族は誰かいますか？」など個人情報を聞いてきた。

最後に「石神井警察で相談します。」と言って電話は切った。結局50分以上話した。

たまたま、金沢にも行ってないし、保険証も無くしたりしていないので事なきを得たが、一つでも似たような体験があったら引かかるかもしれない。個人情報を得るためだったのかもしれない。

石神井警察に相談するとやはり詐欺とのこと。まお金の話もなく電話も長くなると集中力もなくなり判断も危なくなる。高齢者に限らず、みんなで注意しなければならない。

とにかく、見知らぬ電話には出ない！または、聞かずに切る！



### 充電式電池の出し方

持っているだけでも、時が経つと、自然に置いてあるだけなのに、膨張して発火することがあるという充電式電池。何か過って手を加えたわけでもないのに、火災の直接原因となるものが、既に家庭の中に入りこんでしまっている。今迄は知られていなかった新たな脅威です。

今年話題になった充電式電池の危険性。自分が買った時には、その電化製品の中に、そんな危険な物がまさか含まれているとは、その時は誰も思いもよりませんでした。しかし今は危険性が判明したのですから、これからこの種の電化製品を買う場合は、問題があるとされている不明メーカーの物は買うのを控えることが大事でしょう。しかし知らずにもう買ってしまっている人は、その危険な物をどう処理すればいいのか。捨てるしかないのですが、どこに、どうやったら安全に廃棄できるのか。



色々な経験を経て、今では各自治体は、この種の電池は特別に気を付けて回収するようになってきました。しかし、回収の仕方は同じではなく、各自治体によって若干違うようです。自分が属する区の充電式電池回収法は現在どのようなものか、確認しておく必要があります。

練馬区の回収の仕方は、「練馬区資源・ごみの分け方と出し方」の最新版、令和7年4月版(2025年)で自分で確認するのが大事。この冊子は、石神井支所に行くと誰でも貰えます。

充電式電池(特にリチウムイオン電池)は、強い衝撃が加わると発火する可能性がある。

充電式電池と、それらを含むモバイルバッテリー・加熱式たばこ・ハンディファンの製品は、

電池の両極をテープ等で絶縁して「充電式電池リサイクルボックス」が設置してある施設、それらを回収できる施設に持っていき廃棄する事。しかしそのような回収施設が近くにない場合には、車両火災やリサイクル工場の火災の原因となる場合があるため、不燃ごみを出す日に、他の不燃ごみとは別の袋に、絶縁してはつきりそれと分かる様に出す。とりわけ膨張した充電式電池を含む製品を出す際は、それを扱う施設に持っていか、不燃ごみ収集日に収集をしている職員に直接手渡す事。

QRコードを見る事が出来る方は、練馬区の冊子にある一般社団法人JBRCのQRコードから、ホームページに飛ぶとどの製品にこの電池が含まれているか、どう廃棄できるかが判り易く書かれています。

また練馬区のホームページには、「ゴミの分け方と出し方」のサイトがあります。最新の投稿は、2025年11月25日更新の「電池(乾電池・小型充電式電池・ボタン電池等)の回収」。この問題に対し区民はどう対処すればいいのか。区の最新方針が判ります。年末年始の掃除で、危険なこの電池を廃棄しなければならない場合には、ホームページの最新更新版をゆっくり閲覧されることをお勧めします。

## 除夜の鐘

お寺の境内にある鐘楼。大きな鐘が吊るされています。その鐘を見ているうちに12月の末日、その年最後の日、大晦日の夜に撞いてみたいという気が突然起こりました。

「除夜の鐘をここで撞くことができますか」と恐る恐る聞いてみると、「どなたでも出来ますよ」と優しく答えて下さったお寺。当日は少し早めに行って、鐘を撞く順番の札を頂き、寒い中、ちぢこまりながらその時を待つ。緊張して鐘楼の階段を上り、お寺の方に介添えされながら、大きな鐘を前にして心を込めて撞くつもりで

色々な事があった2025年の厄落としが出来ますように。108あると言われる煩惱を全て払い、清らかな心で新年を迎えることができますようにと祈りつつ、鐘を撞く。

日本ではお寺は古くからあり、鐘も古くから鐘楼に吊られていて、地域の人々に日々の時を伝えてきました。当然除夜の鐘を撞くことも、古くから伝わってきた日本の習わしと思われがちです。しかし、実際は、昭和2年の除夜に今のNHKが、上野寛永寺の除夜の鐘の音を生で流す番組を公開してから、日本中に広まった。これが、通説です。

2025年は、全国の棲息地で熊が町中に出て、次々人に危害を加え地元の人を不安にさせました。怖かったのは、12月の半ば過ぎでも熊は冬眠せず、90才に近い猟友会の方が襲われ、亡くなられた事です。

一方都会で人々を、とりわけ老人を不安にさせたのは、野生動物ではなく、若い人達でした。バイト募集の名目で集められた知らない者同士の若者達が、一人暮らしの老人の家に集団で押し入る。外部のスマホから



の情け容赦のない指示に従い、家人をバールで殴り殺し、金品を強奪。今迄聞いたこともなかった程の凶悪な事件が続発。指示役を含め一味が逮捕された報道がありましたが、その後も強盗は起っています。並行するように、外国に送られ訓練された若者が、教えられたマニュアル通りに、ボケた老人を狙い、電話をしお金を騙し取る詐欺事件も頻発。また国内から警察の電話番号を模した発信名で電話を掛け、老人を騙す詐欺事件等多発。1件の被害金額が従来とは違い桁違いに多い。この種の事件に手慣れた筈の人でも掛かってしまう程の巧みなマニュアルが勝っているのか、今も被害が続いています。

政治的にも、中国やアメリカとの外交問題で、先が見通せない暗い状況。

生活面でも、お米の値段を筆頭に、物価が高騰。今後どうなるのかが不透明で、不安。

個々の人の周りを、個人の力ではどうする事も出来ない問題がとりまいています。一見解決に向かったようにみえても問題は消えず、燃え滓が残ります。個々の人は常に追われ、心の不安が治まることはありません。

どこかで心を鎮めることが必要です。そんなときに、除夜の鐘を撞けばいいのではないか。心の憂さを鐘の音と共に夜の虚空に消し去ることが出来るのではないか。自分の心の中の澱を、自分で掃き清める事ができるのではないか。不安を逃れるには、心の悩みを取り去る仕掛けとして、除夜の鐘を撞くのが良いのではと思いつきました。

ここ石神井でも、近くお寺で鐘を打つことができます。真言宗智山派の三寶寺には、権名伊予守藤原吉寛が、延宝3年(1695)に鑄造した高さ164.4cm、口径85.8cmの鐘があり、希望者は撞くことができます。お隣の曹洞宗の道場寺には、昭和45年(1970)香取正彦が鑄造した鐘があります。

こちら除夜の鐘は誰でも撞けるとの事。来年こそどちらかで撞きたい。

鐘を撞くことは、素晴らしい聖なる仕掛けに思えます。



今回はういんぐが属する「練馬区社会福祉協議会」からお知らせです。

【食料のご寄付にご協力お願いします】

練馬区社会福祉協議会の中にある「生活サポートセンター」では、地域で生活する方のさまざまなお困りごとをお聞きしています。経済面や仕事、食べ物に困っているという相談もお受けしています。ご寄付いただいた食料は、食べ物にお困りの方にお渡しできたら思っております。是非みなさまのご協力よろしく願いいたします。

昨年も多くの方からご協力いただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

#### 🍱 お持ちいただきたい食品

インスタント食品、レトルト食品(カレー、牛丼、パスタソース等)、缶詰(肉、魚、果実等)、乾物(乾麺、フリーズドライ食品等)



#### 🍱 いただく際の食品の状態等について

①未開封で、包装や外装が破損していないもの ②瓶詰ではないもの

③賞味期限が明記されていて、期限が1か月以上先のもの

④冷蔵・冷凍・生鮮食品ではないもの



食品の受け取りはういんぐでも行っています。下記までお持ちいただくと幸いです。

【受取場所】

石神井障害者地域生活支援センターういんぐ  
練馬区石神井町7-3-28  
石神井保健相談所併設

生活サポートセンター  
練馬区豊玉北6-12-1  
練馬区役所西庁舎3階

発行者：豊田 勝良 担当部：広報部 広報部長：坂本 直明